

議会 だより

鳴門市
NARUTO CITY

発行／鳴門市議会
編集／議会広報委員会
発刊／2026年(令和8年)6月1日



<https://www.city.naruto.lg.jp/gikai/>

目次

令和8年第1回定例会の議決結果	②～③
請願の処理、人事案件、意見書	③
委員会審査	④～⑤
一般質問	⑥～⑭
鳴門渦潮高校「鳴門活性化発表会」	⑭
令和8年度当初予算・ 令和7年度補正予算審査	⑮
令和8年第2回定例会の予定、ご意見箱	⑯

【令和8年度新規採用職員研修(議会について)】

議場で研修を受ける新規採用職員

高麗議長激励のあいさつ

No. 135

《 令和 8 年 第 1 回定例会の議決結果 》

議案番号	案 件	議決結果	所管の 委員会
議案第 4 号	令和 8 年度鳴門市一般会計予算	原案可決	予算決算
議案第 5 号	令和 8 年度鳴門市国民健康保険事業特別会計予算		
議案第 6 号	令和 8 年度鳴門市後期高齢者医療特別会計予算		
議案第 7 号	令和 8 年度鳴門市介護保険事業特別会計予算		
議案第 8 号	令和 8 年度鳴門市光熱水費等支出特別会計予算		
議案第 9 号	令和 8 年度鳴門市給与費等管理特別会計予算		
議案第 10 号	令和 8 年度鳴門市公債費管理特別会計予算		
議案第 11 号	令和 8 年度鳴門市水道事業会計予算		
議案第 12 号	令和 8 年度鳴門市モーターボート競走事業会計予算		
議案第 13 号	令和 8 年度鳴門市下水道事業会計予算		
議案第 35 号	令和 7 年度鳴門市一般会計補正予算（第 8 号）		
議案第 36 号	令和 7 年度鳴門市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 1 号）		
議案第 37 号	令和 7 年度鳴門市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）		
議案第 38 号	令和 7 年度鳴門市介護保険事業特別会計補正予算（第 1 号）		
議案第 39 号	令和 7 年度鳴門市給与費等管理特別会計補正予算（第 1 号）		
議案第 40 号	令和 7 年度鳴門市公債費管理特別会計補正予算（第 2 号）		
議案第 41 号	令和 7 年度鳴門市水道事業会計補正予算（第 2 号）		
議案第 14 号	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	原案可決	総務文教
議案第 15 号	鳴門市事務分掌組織条例の一部改正について		
議案第 16 号	鳴門市職員諸給与条例の一部改正について		
議案第 17 号	鳴門市特別職の職員の給与及び旅費の支給に関する条例の一部改正について		
議案第 18 号	鳴門市生活支援未来応援基金条例の制定について		
議案第 19 号	鳴門市債権管理条例の制定について		
議案第 20 号	鳴門市火災予防条例の一部改正について		
議案第 30 号	訴訟上の和解について		
議案第 21 号	鳴門市文化会館条例の一部改正について	原案可決	生活福祉
議案第 22 号	鳴門市国民健康保険条例の一部改正について		
議案第 23 号	鳴門市介護保険条例の一部改正について		
議案第 24 号	鳴門市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について		
議案第 25 号	鳴門市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について		
議案第 26 号	鳴門市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について		
議案第 27 号	鳴門市立保育所条例の一部改正について		
議案第 28 号	鳴門市子ども未来館条例の制定について		
議案第 31 号	鳴門市文化会館及び鳴門市子ども未来館に係る指定管理者の指定について		

議案番号	案 件	議決結果	所管の委員会
議案第29号	鳴門市営住宅条例の一部改正について	原案可決	産業建設
議案第32号	市道路線の認定について		
議案第33号	公の施設の区域外利用に係る協議について		
議案第34号	松茂町ほか二町ボートレース事業組合と鳴門市との間におけるモーターボート競走施行に関する事務の受託に係る協議について		
報告第2号	専決処分について（損害賠償の額の決定）	報 告	
発議第1号	鳴門市議会委員会条例の一部改正について	原案可決	
発議第2号	鳴門市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	原案可決	
意 第1号	「日本国国章損壊の罪」の早期制定を求める意見書	原案可決	
同意第1号	教育委員会委員の任命について	同 意	
同意第2号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意	
諮問第1号	人権擁護委員の推薦について	同 意	

請願の処理

請願番号	案 件	議決結果	所管の委員会
請願第1号	「(仮称) 徳島鳴門風力発電事業」の中止を求める請願書	採 択	生活福祉

人事案件

●教育委員会委員

さいじょう まゆみ

西條 真由美 氏（撫養町）

●人権擁護委員

はやし きょうこ

林 恭子 氏（撫養町）

●固定資産評価審査委員会委員

たまい きょうこ

玉井 京子 氏（撫養町）

はら たかひと

原 孝仁 氏（鳴門町）

もりきた のぶとし

森北 伸年 氏（大麻町）



「日本国国章損壊の罪」の早期制定を求める意見書

日本の国旗および国章は、我が国を象徴するものとして広く定着している。

近年、国旗等に侮辱的な意匠を施し公然と掲示する行為や損壊行為も見られ、国旗・国章の尊厳を守るための法的対応を求める声が高まっている。

しかし現行法では、外国の国旗・国章を損壊する行為については処罰規定が存在する一方、自国の国旗・国章に対する故意の損壊・汚損を直接処罰する規定はなく、法体系としての整合性に課題が残されている。

国旗および国章は国民の帰属意識や社会の一体性を象徴する存在であり、その尊厳が損なわれることは社会秩序にも影響を及ぼすおそれがある。また、多くの国では国家象徴を保護する制度が整備されている。

よって国においては、下記の事項について速やかに検討を行い、必要な措置を講ずるよう求める。

記

- 1 国旗・国章の故意による損壊行為に関する刑法上の規定について、憲法との整合も含め国会において十分な議論を行うこと。
- 2 制度整備にあたっては、国民の理解促進を併せて進めること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和8年3月17日

鳴門市議会

※定例会で可決された意見書は、衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣、法務大臣へ送付しました。

総務文教委員会

●議案第18号

鳴門市生活支援未来応援基金条例の制定について

市民や事業者の生活を守り、将来の危機事象に備えて地域の未来を支えるため、新たに基金条例を制定するもの。

【質疑】 基金の初年度の積立予定額とその財源は。

【答弁】 令和7年度3月補正予算案において15億円を当初積立額として計上している。

【質疑】 基金の活用予定は。

【答弁】 令和8年度当初予算において4億8603万4000円を生活支援未来応援基金から一般会計に繰入れることとしており、なるとまるごと子育て応援パッケージ事業や、なるとまるずっと子学力向上パッケージ事業、地域防災リーダー養成事業をはじめとする危機管理対策、地域経済対策などの財源として活用する予定である。



【質疑】 基金に属する現金を有価証券に代えることができるかと規定されているが、その判断基準は設けられているのか。

【答弁】 有価証券は財政運営上すぐに現金として活用しにくい面があることから、生活支援未来応援基金については、有価証券による運用の規定は設けているものの、基本的には定期預金など流動性の高い預金による管理を想定している。

生活福祉委員会

●議案第31号

鳴門市文化会館及び鳴門市こども未来館に係る指定管理者の指定について

鳴門市文化会館および鳴門市こども未来館の指定管理者の指定にあたり、地方自治法第244条の2第6項の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。

【質疑】 指定管理候補者の選定理由について。

【答弁】 会館運営・ホール運営、子ども遊び場運営、イベント開催など多くの実績を持つそれぞれの事業者の強みを組み合わせることにより、2施設一体でぎわいの創出が期待できる。

【質疑】 地元企業との連携や参入の可能性について。

【答弁】 2館は地域密着型の施設運営を目指し、地域経済や雇用創出に寄与することも目的としており、指定管理者には地元人材の積極的な採用や地元企業との連携を優先的に進めることを求めている。



耐震改修工事前の鳴門市文化会館

【要望】

インクルーシブな社会の実現には、行政が主体とならなければいけない。どうすればインクルーシブな社会のモデル事業となるのかを考えてほしい。

産業建設委員会

●議案第32号

市道路線の認定について

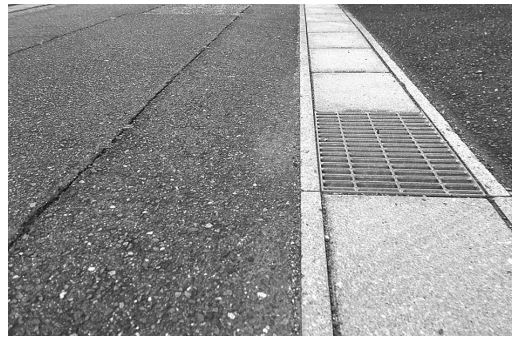
市道路線の認定にあたり、道路法第8条第2項の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。

【質疑】新たに市道路線を認定する場合について。

【答弁】本市にて道路認定要綱を定め、幅員や側溝、舗装など、市道として認定するための基準を満たす道路にしなければならない。

【質疑】道路の幅員について。

【答弁】水路部分についても路肩として含んでおり、市道路線認定における幅員として算入している。また、幅員については現地で実測を行い、通行に使用することができる幅を計測した上で、幅員としてみなしている。



【質疑】市道路線認定されていない道路について。

【答弁】本市では、開発行為により寄附された道路については、道路用地として土木課がリストを管理している。その後、市道路線認定の基準を満たしているのか定期的に調査を実施しており、2年に1度、議会に諮るかたちをとっている。

予算決算委員会

●議案第4号

令和8年度鳴門市一般会計予算

令和8年度当初予算は、防災・減災対策として避難所QOL確保や文化館耐震改修を推進するとともに、子育て・学力向上施策のさらなる充実を図るほか、物価高騰に対応するための支援を実施し、「あらたななると」の実現を目指す編成となっている。

【質疑】令和8年度一般会計予算における繰入金と市債の状況は。

【答弁】繰入金は約49億9400万円で、前年度から大きく増加している。主な要因は、収益事業収入を抑えたことに伴い、基金繰入金を増やしたためであり、内訳は財政調整基金約22億7800万円、ポータルレーズ鳴門まちづくり基金18億円などである。市債は、約101億4600万円で、文化会館の耐震改修や（仮称）大麻町総合防災センターの整備などの投資的事業の増加に伴い、規模が拡大している。

【質疑】大型事業の増加に伴う将来負担と今後の財政収支見通しは。

【答弁】現行の行財政改革計画の計画期間が令和8年度までであるため、令和9年度以降の財政収支見通しについては令和8年度中に新たに策定し示す予定である。これまで地方債を活用して耐震化や防災対策を進めてきたが、金利上昇の影響もあり、公債費は令和13年度頃にかけて増加し、現状より大きく膨らむ見込みである。今後は、次期計画策定の中で課題を検証し、対応策を検討していく。

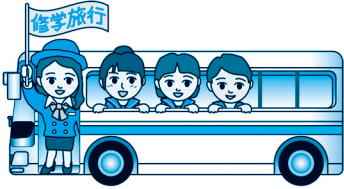
一般質問

代表質問

①山根 巖(会派 なんと未来)

1. 市長の政治姿勢について

- (1) 令和8年度当初予算について
- (2) 子育て支援と教育振興について
- (3) まちづくりについて



②秋岡 大喜(会派 創心クラブ)

1. 市長の政治姿勢について

- (1) 4期16年の総括と5期目への基本方針について
- (2) 歴史・文化財などを通じた「まち」の活性化について

2. 鳴門市の活性化について

- (1) 「NARUTO. 3RD」など移住促進事業について

3. 防災行政について

- (1) 自主防災組織について
- (2) 避難所の設備・情報収集について

③森江 大蔵(会派 新・令和なんと)

1. 市長の政治姿勢について

- (1) 権限証明書の電子交付等について
- (2) 鳴門市災害弔慰金等支給審査会について
- (3) 大河ドラマを契機にした歴史教育について

2. 農業政策について

- (1) 農業用排水路に堆積した汚泥の利活用について

3. 廃棄物処理行政について

- (1) 焼却炉の修繕や廃棄物の場外搬出の実態等について
- (2) 新たな焼却炉の整備等について
- (3) 農業・漁業廃棄物の円滑な処理について

④潮崎 憲司(会派 鳴光会)

1. 市長の政治姿勢について

- (1) 鳴門駅周辺整備事業について

2. 教育行政について

- (1) いじめ問題について



⑤東 正昇(会派 潮)

1. 市長の政治姿勢について

- (1) 公共施設の整備に伴う将来負担について
- (2) 企業誘致の取組について
- (3) 旧衛生センター跡地の活用について

2. スポーツ行政について

- (1) 新スポーツ施設の整備について
- (2) 鳴門市総合運動場の拡張を含めた総合グラウンドの整備について

⑥前田ナツ子(会派 公明党)

1. 地域公共交通について

- (1) 移動支援について

2. 福祉行政について

- (1) こころの健康について

3. 市民サービスについて

- (1) オンライン出生届の導入について



問 なんとまとまるごと子育て応援パッケージ事業の成果と今後の見直しは。
答 毎年10月に実施しているアンケート調査での事業認知度は令和4年度は47%、令和7年度には59.5%と向上しており、令和6年度には65人の転入超過となり子育て世帯の定住人口確保に一定の効果をもたらしている。

子育て支援と教育振興

問 令和8年度当初予算編成の基本的な考え方と重点施策は。
答 命と暮らしを守る力、未来を育てる力、支えあう力、まちを動かす力、心をつなぐ力の5つの鳴門を動かす力の実現に向けた予算編成を行う。重点施策は、給食費無償化事業、小・中学校の修学旅行費用の無償化や5つの鳴門を動かす力を確実に実現するため設置する生活支援未来応援基金などである。

令和8年度当初予算編成



会派
なんと未来
やまね いわお
山根 巖

動画はこちら



問 鳴門市まちなか未来ビジョンの素案と鳴門駅移転は。
答 モーターライゼーションの進展などにより人や車の流れが郊外へ移り、都市のスポンジ化が進行している。まちづくりデザイン会議では、こうした課題を踏まえて議論し、検討内容を鳴門市まちなか未来ビジョンの素案としてまとめた。

問 鳴門市まちなか未来ビジョンの素案と鳴門駅移転は。
答 モーターライゼーションの進展などにより人や車の流れが郊外へ移り、都市のスポンジ化が進行している。まちづくりデザイン会議では、こうした課題を踏まえて議論し、検討内容を鳴門市まちなか未来ビジョンの素案としてまとめた。



移転が検討されているJR鳴門駅



会派
創心クラブ
あきおか ひろき
秋岡 大喜

動画はこちら



観光しやすさづくり

問 JR鳴門駅構内のコインロッカーが撤去され、複数の観光客から不便との声を聞いた。市として把握し対応策は講じているのか。

答 観光客の荷物預け先の問題については市でも把握しており、市からの働きかけにより、駅近くの店舗がアプリを活用した手荷物預かりサービスを提供している。また、提携宿泊施設へ先に手荷物を配送する手ぶら観光サービスの導入により、滞在時間の有効活用や回遊性の向上を図っている。今後も各サービスを広く周知するほか、民間事業者の協力を得ながら利便性向上に努める。

要望 3年に一度、瀬戸内海の島々などで開催される瀬戸内国際芸術祭に、東かがわ市が令和7年に初めて会場を設け、夏の開催期間だけで3万4000人を超える来場者があった。にぎわい創出のひとつとして、本市も瀬戸内国際芸術祭への参加を要望する。

災害時の情報配信ツールと情報難民解消

問 防災時、行動判断材料としての情報収集が不可欠であり、市民よりSNSなどを含めた情報収集ツールの多様化が求められているが、市の情報配信の整備および取り組み状況は。

答 従来の市公式ウェブサイトや緊急情報メール配信サービスなどに加え、即時性や局地性のある情報を市公式XやLINEを活用して配信している。また、災害の影響を受けにくいとされているFMラジオ放送は被災情報を収集する手段として有効であり、四国放送ラジオのFM化について、市の広報紙を通じて周知を行うほか、デジタルなんでも相談室でラジオが聞けるアプリradikoのダウンロードに対応するなど、今後も情報伝達手段を確実に運用するための体制づくりや普及啓発を強化する。

デジタルなんでも相談室

市職員がお待ちしています。

デジタルなんでも相談室

無料 申込不要

どんなでも、

市では、スマートフォンやタブレット端末の普及に伴って、デジタル技術に関する相談が増えています。デジタルなんでも相談室では、市職員がいつでもお話しします。

こんなお悩みを一緒に解決していきましょう！

遠くの家族とビデオ通話したい

趣味の写真を多くの人に共有したい

スマホのエラー表示や故障の原因がわからない

●お持ちのデジタル機器（スマートフォン、タブレット）を持ってきてください。●市職員が直接サポートいたします。

日	時間	場所
4月21日(水)	10:00~12:00	市役所1階
4月22日(木)	10:00~12:00	市役所1階
4月23日(金)	10:00~12:00	市役所1階
4月24日(土)	10:00~12:00	市役所1階
4月25日(日)	10:00~12:00	市役所1階
4月26日(月)	10:00~12:00	市役所1階
4月27日(火)	10:00~12:00	市役所1階
4月28日(水)	10:00~12:00	市役所1階
4月29日(木)	10:00~12:00	市役所1階
4月30日(金)	10:00~12:00	市役所1階
5月1日(土)	10:00~12:00	市役所1階
5月2日(日)	10:00~12:00	市役所1階
5月3日(月)	10:00~12:00	市役所1階
5月4日(火)	10:00~12:00	市役所1階
5月5日(水)	10:00~12:00	市役所1階
5月6日(木)	10:00~12:00	市役所1階
5月7日(金)	10:00~12:00	市役所1階
5月8日(土)	10:00~12:00	市役所1階
5月9日(日)	10:00~12:00	市役所1階
5月10日(月)	10:00~12:00	市役所1階
5月11日(火)	10:00~12:00	市役所1階
5月12日(水)	10:00~12:00	市役所1階
5月13日(木)	10:00~12:00	市役所1階
5月14日(金)	10:00~12:00	市役所1階
5月15日(土)	10:00~12:00	市役所1階
5月16日(日)	10:00~12:00	市役所1階
5月17日(月)	10:00~12:00	市役所1階
5月18日(火)	10:00~12:00	市役所1階
5月19日(水)	10:00~12:00	市役所1階
5月20日(木)	10:00~12:00	市役所1階
5月21日(金)	10:00~12:00	市役所1階
5月22日(土)	10:00~12:00	市役所1階
5月23日(日)	10:00~12:00	市役所1階
5月24日(月)	10:00~12:00	市役所1階
5月25日(火)	10:00~12:00	市役所1階
5月26日(水)	10:00~12:00	市役所1階
5月27日(木)	10:00~12:00	市役所1階
5月28日(金)	10:00~12:00	市役所1階
5月29日(土)	10:00~12:00	市役所1階
5月30日(日)	10:00~12:00	市役所1階
5月31日(月)	10:00~12:00	市役所1階

※グループや団体での開催をご希望の方は、別途ご相談ください。

市役所1階 デジタル相談室
電話 684-1382 ※ info_system@city.naruto.itokushima.jp



会派
新・令和なると
もりえ だいごう
森江 大蔵

動画はこちら



災害関連死救済を含む被災者支援

問 条例改正により設置される災害弔慰金等支給審査会だが、災害関連死の認定を迅速に行える運用体制が必要ではないか。また、罹災証明書の申請は電子化されているが、交付は窓口または郵送であり、交付も含めて電子化する考えはあるのか。

答 災害弔慰金等支給審査会は発災後に設置するが、平時より医師会や弁護士会などと調整するなど発災後速やかに委嘱できる体制を整える。罹災証明書交付など被災者支援に係る業務の迅速化などに向けて、デジタル技術による円滑化を図る。

用排水路に堆積した土砂の利活用

問 用排水路に堆積した土砂のしゅんせつは、防災の観点からも有効であり、定期的にしゅんせつしては。併せてしゅんせつ土の活用を検討してはどうか。

答 土砂の仮置場の増設と定期的なしゅんせつを行う。さらに、しゅんせつ土の安全で実用的な利活用について調査研究する。



土砂の堆積により水位が上昇している水路

廃棄物処理行政について

問 本市の焼却炉は老朽化しており、炉の修繕に伴い処理しきれないゴミの県外搬出の費用も高額である。一刻も早く本市の廃棄物処理行政を広域化して高効率な焼却炉を導入し、または亜臨界水処理など新技術導入を進めるべきではないか。

答 新たな廃棄物処理施設の整備については、適切な時期に議論を始めた。また広域化も視野に他市町村の動向を注視し、新技術も研究する。



会派
鳴光会
しおぎ けんじ
潮崎 憲司

動画はこちら



鳴門駅周辺整備

問鳴門駅移転について問う。

答まちづくりデザイン会議において、現在地からの移転を軸に検討を続けていくとの意見集約が図られており、令和8年度策定の基本計画において都市構造上の合理性、利便性、鉄道施設の技術的視点、実効性、費用対効果などの検討を踏まえ総合的に判断されていくと考えている。

要望鳴門駅移転は市全体に関わる課題であり、将来像を示し市民と共有した上で慎重に進める事を要望する。

若者の滞在促進

問新庁舎における中高生の利用実態とその活用について問う。

答新庁舎は中高生を含む多くの市民に利用されており、その実態を踏まえ鳴門駅周辺整備に活用する考えであり、今後は利用者の声を反映し、

ワークショップなどを通じた取り組みを進める。

要望若者をはじめ市民の声を丁寧に聴き、施策に反映するよう要望する。



中高生を含む多くの市民に利用されている
市役所本庁舎4階のフリースペース

いじめ対応の実効性

問いじめ対応の迅速性、組織的な対応体制は。

答事案ごとに状況が異なるため一律の基準は難しいが、組織的に迅速な対応に努め、関係機関と連携しながら適切に対応していく。

要望対応のばらつきを防ぐため、一定の基準や時間軸の明確化を要望する。

市長の政治姿勢について

問企業誘致の取組について問う。

人口減少と若者流出が進む中、本市が将来にわたり持続的に発展していくためには、法人市民税や固定資産税といった基幹税収を安定的に確保するとともに、若者や子育て世代が安心して働き続けられる雇用環境を整備していくことが不可欠である。徳島県が推進するバッテリー構造は、新たな産業集積を生み出す大きな契機であり、本市としても産業用地の確保などの主体的な関与が求められていると考える。これまで本市はどのような用地提案などを県に行ったのか。また今後、産業用地の確保や工業団地整備など、より踏み込んだ誘致戦略を進めていく考えはあるのか、市長の見解を伺いたい。

答バッテリーバレイ構想については、県が県内市町村の候補地をとりまとめ、関連企業に提案している。今後は県の誘致活動への同行など



会派
潮
あづま まさひろ
東 正昇

動画はこちら



連携を強化し、県が検討する産業団地造成について本市での開発を要望する。また、地域への効用が大きい製造業の誘致について、企業立地奨励条例による固定資産税の減免などに加えて、新たに企業立地に係る支援制度を検討する。



意見企業誘致関連予算は過去3年間で約2500万円から約900万円へ縮小し、進出企業数も各年度3社程度にとどまっている。また、100人規模の企業が撤退するのは、市が要望に応えられなかったからである。

貴重な独自財源であるポータル事業収益を未来への投資財源として位置づけ、将来税収を生む投資型財政運営へと転換するべき。

企業誘致は単なる経済政策ではなく、若者の未来をつくり、人口減少に立ち向かう政策である。四国の玄関口という地理的優位性を生かし、成長産業を呼び込み、若者が働き暮らし、子育てできるまちへ進化することを求める。

問 近年、ストレスや環境変化で心の不調やうつ病が増加する中、本市の心の健康対策の現状と、早期発見、

心の健康対策

する。

答 タクシーチケット導入については、効率的で効果的な実効性のある活用方法などについて制度設計を進める。

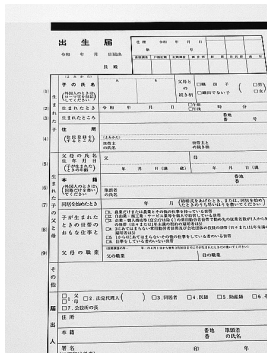
大麻町移動支援実証事業では、社会福祉法人などが運行を担う予約制の無料送迎を実施しており、住民の移動ニーズに対応した利便性向上に寄与している。今後は効果検証と関係者の意見を踏まえ本格運行を検討する。

問 高齢者や交通弱者への移動支援として、タクシーチケット制度の導入についての考えと、令和7年12月から実施の大麻町移動支援実証事業の内容と今後の本格運行に向けた検討状況は。

タクシーチケット導入と移動支援実証事業



会派 公明党
まえだ なつこ
前田 ナツ子
動画はこちら



鳴門市の出生届

問 出生数減少の中、出生届の負担軽減ニーズも高く、国はオンライン化を推進しているが、本市のオンライン出生届導入の見解は。

答 システムの連携などに課題があるが、令和9年に改善予定である。市民サービス向上のため、国の動向を注視し、早期に導入したい。

オンライン出生届の導入

問 健康なると21第三次計画に基づき、包括的な支援と各種研修会、講演会などで心の健康対策を継続的に実施している。こころの体温計については、インターネットを活用したチェック方法などを紹介し、早期発見・予防に向けた相談環境整備を推進し、市民が生涯健康で心豊かな生活の実現に取り組む。

答 健康なると21第三次計画に基づき、包括的な支援と各種研修会、講演会などで心の健康対策を継続的に実施している。こころの体温計については、インターネットを活用したチェック方法などを紹介し、早期発見・予防に向けた相談環境整備を推進し、市民が生涯健康で心豊かな生活の実現に取り組む。

予防対策のためいつでも気軽にチェックできるシステム「こころの体温計」導入の考えは。

個人質問

①笠原 将吾

1. 環境政策について
(1) 陸上風力発電について



④納田 盛資

1. 大麻町のまちづくりについて
(1) 大麻町未来づくり会議について
(2) 買い物難民対策について
2. 板東駅の改修について
(1) 板東駅改修の今後の進め方について
3. 自治会活動について
(1) 行政による自治会支援の取組について
(2) 行政からの情報伝達方法について

⑦上田 公司

1. 鳴門駅周辺の再生について
(1) 鳴門市まちづくりデザイン会議について
2. 大麻町におけるまちづくりについて
(1) 大麻町未来づくり会議について



②黒島 宏美

1. 教育行政について
(1) 不登校支援としてのうず潮教室について
(2) 夏季休業期間中の課題の在り方について
2. 人事行政について
(1) カスタマーハラスメント対策について

⑤岡 香名芽

1. 人口減少対策について
(1) 保育園待機児童、途中入園、保育士不足について
(2) 学校給食について
2. 教育行政について
(1) 全国学力学習調査について
(2) 不登校児童生徒の支援について



⑧宅川 靖次

1. 空き家対策について
(1) 空き家対策の現状と課題について
2. 企業誘致について
(1) 企業誘致の現状と今後の方向性について
3. 環境行政について
(1) 里浦最終処分場について

③山下 敬子

1. 福祉行政について
(1) 心身に障がいがある方への就労支援について
2. 環境行政について
(1) 粗大ゴミ及び小型家電製品等の回収体制の充実について
3. 有害鳥獣対策について
(1) 有害鳥獣対策の取組について

⑥三津 良裕

1. 安全なまちづくりについて
(1) 道路管理について
(2) 小中学生の自転車利用における安全確保について
(3) 市道明神日出線について



⑨八木 知子

1. 新スポーツ施設の整備について
(1) 事業の進捗状況について
2. 学力向上について
(1) 学区制撤廃後の高校入試を見据えた学力向上対策について
3. 期日前投票所について
(1) 市長選挙・市議会議員一般選挙における期日前投票所について



かさはら しょうご
笠原 将吾

動画はこちら



陸上風力発電について

問北灘町で計画されている陸上風力発電について、市民から災害リスクや農業、希少生物への影響を懸念する声が寄せられている。

市が定めた風力発電ゾーニングに逸脱する場合、計画の是正を求めべきではないか。

西日本豪雨級の災害を想定した対策や農業被害発生時の補償体制を事業者に求めるべきではないか。

コウノトリなど希少種保護のため事故防止や監視体制強化を求めるべきではないか。

市の認識を問う。

答市は、地元住民の理解が得られない中で事業を進めることは適当ではないと考えており、事業計画を精査しながら対応する。災害対策や農業被害防止については関係法令の遵守と適切な対策を事業者に求める。鳥類への影響評価は、特に慎重かつ丁寧に実施することとし、令和6年6月に徳島県へ提出した意見書に記載

した。

要望本事業は鳴門市の自然環境や農業、景観など将来に関わる重要な問題である。北灘町では反対の意思が示されており、市民の声を尊重することを願う。理解なき事業は適当ではないという立場を明確にし、市民の不安に寄り添った慎重な判断を求める。



他県に設置されている風力発電



くろしま ひろみ
黒島 宏美
(なると未来)

動画はこちら



うず潮教室について

問不登校や学校生活に不安を抱える児童・生徒を支援する教育支援センター「うず潮教室」にて、給食の提供を検討してはどうか。

答現在、うず潮教室では学校給食の提供を行っておらず、お昼をまたいで通級する場合は、昼食の持参または近隣小売店で昼食を購入するなどの対応を行っている。本教室に入級している児童・生徒の通級時間は日によって異なるのが実情で、利用形態も個別的である。

また、うず潮教室での学校給食提供は、必要食数の把握が困難であることや、学校給食衛生管理基準の遵守などを、厳格な体制の下で実施する必要があるなどの課題がある。

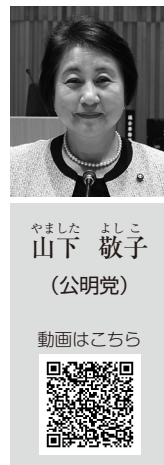
学校給食には児童・生徒の食に関する正しい理解と正確な判断力を養うなど、教育上の目的もあるため、うず潮教室での学校給食提供については、先進自治体の事例などの調査を行い、研究したい。

要望給食は、子どもたちの栄養バランスを整え、食育や望ましい食習慣、地元食材への理解、社会性を育むなど大切な取組である。発達特性があり、不登校を抱える児童・生徒の中には、こだわりや感覚過敏から偏食を抱える場合もあり、給食を通じて食べられる食材や献立の拡大につながる一助になるのではないか。

給食の提供が困難であるならば、子どもたちの成長期に適切な内容のお弁当を配食するなどの対応をしてほしい。



うず潮教室



心身に障がいのある方への就労支援

問 個別特性に応じた就労支援の現状と企業の受入力強化および定着支援の取組について問う。

答 鳴門市障がい者計画および鳴門市障がい福祉計画に基づき、関係機関との連携により就労支援に取り組んでいる。就労支援に携わる事業所は市内16か所あり、約170名が利用。過去3年間で34名が一般就労へ移行し、定着率91・2%。定期的な面談やジョブコーチなどとの連携により、定着支援を実施している。受入企業の課題には福祉との連携強化で対応し、生活面も含めた一体的支援と賃金向上、優先調達などにより就労促進を図る。

有害鳥獣対策の取り組み

問 猟友会の体制や活動、捕獲実績および有害鳥獣への今後の対策は。

答 猟友会は39人の会員で構成され、3班集体で箱わなや銃により対策を

実施している。捕獲実績は、狼が令和2年度の77頭から大型おりを導入した令和6年度には283頭へ増加、イノシシは400〜800頭で推移している。今後は個体群管理、侵入防止、生息環境管理の3つの視点で、対策を推進する。

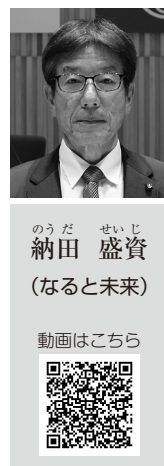


イノシシ捕獲民

粗大ごみおよび小型家電製品等の回収体制の充実

問 うずしおふれあい収集の利用状況、対象外の方の排出機会確保の取組について問う。

答 うずしおふれあい収集は70歳以上の方のみ世帯などを対象に自宅回収を実施し、令和6年度は44件、累計600件以上の利用がある。高齢世帯は約1万1000世帯へ増加し需要は高まる一方、人員制約から対象拡大は困難である。持込みを基本とし第2土曜や年末3日間の受入れなどで排出機会を確保するほか、収集運搬許可業者の活用や連携民間事業者の回収も周知し、リユース・リサイクルの推進を図る。



大麻町のまちづくり

問 歴史・文化的遺産がある大麻町は、これまで豊かな自然環境や地域の歴史、伝統文化を生かした魅力あるまちづくりが標榜されてきたが、歴史・文化的遺産が大麻町の発展に生かされなかった原因は。また、今後のまちづくりの方向性は。

答 豊かな歴史・文化資源はこれまで交流人口の拡大に寄与してきた一方で、観光資源としての活用が中心であり、暮らしや経済などの他分野との連携が不十分であった。こうした課題に対応するため、大麻町未来づくり会議を設置した。地域全体の魅力向上や地域内循環の創出へと波及させる多角的なまちづくりについて検討を深めていきたい。

板東駅の改修

問 板東駅改修に向けての今後の課題は。

答 板東駅の現状や整備に伴う課題について地域住民との情報共有が必要である。今後も、駅の安全性や利便性に加え、将来的な維持管理における地域としての役割や関わり方の支援について地域住民と連携するとともに、JR四国との協議を通じ、実現可能で持続可能な板東駅のあり方について検討する。

行政による自治会支援の取組

問 行政による自治会支援について、現在どのような取組が行われているのか。また、今後の支援強化についての考えは。

答 自治会活動の充実と組織強化を図ることを目的とした地域づくり活性化補助金や、住民交流イベントの開催を支援する地域づくり強化イベント活性化補助金を設けている。今後、自治会の持続的な活動には、若者世代によるまちづくりの主体的な参加を促進することが重要であり、若者の社会参画を広げる仕組みを構築するため、令和8年度を目途に（仮称）若者条例の制定を検討する。



おか かなめ 芽
(創心クラブ)

動画はこちら



保育体制の維持強化

問 年度途中入園などの課題を踏まえ、保育体制をどのように維持強化するのか。

答 国の新たな子育て支援施策の実施に伴う保育人材の確保は厳しさを増しており、本市においても重要な課題と認識し、保育士確保策のさらなる充実について検討を図っていく。

要望 年度途中入所が困難な場合も多く、復職を希望する保護者にとって将来設計に直結する深刻な課題である。民間施設の努力に委ねず、公立保育所が調査機能や受け皿として年度途中入所を積極的に受入れることを要望する。

学校給食について

問 学校給食センターを民間委託したことによるメリットや課題は。

答 企業のノウハウを活用し、将来に

わたり安定した学校給食を運営できる。民間委託は一般的に質の低下などが課題とされるが、献立作成や食材発注、検査業務を市が行うため質やおいしさが低下することはない。

また、児童・生徒にアンケート調査を実施し、給食献立の嗜好や摂取状況などを把握しつつ、より安全・安心でおいしい給食が提供できるように努めている。

要望 給食を単なる経費ではなく未来への投資と位置づけ、子どもの健全な成長とともに、給食を通じた地元企業の育成など若者が地元で働き続けることができる環境づくりへつなげる視点を持ってほしい。

小・中学生の学力について

問 全国学力・学習状況調査結果で小・中学校ともに全国・県平均を下回る教科がある。学力の課題をどう考えるのか。

答 本市の児童・生徒は、小・中学校ともに知識および技能はある程度身につけているが、書く力に課題がある。個別最適な学びに努めながら書く力などの育成を含めた学力向上を図る。



みつ おしひろ 裕 良
(鳴光会)

動画はこちら



道路管理、車道の安全確保

問 市内の道路で、横断歩道の白線が消えている場所、市役所や鳴門・大塚スポーツパーク周辺などで歩道の街路樹が車道にせり出している場所、街路樹の根が歩道を盛り上げている場所、道路の凹凸など、危険な場所が多くある。自転車レーンや歩道、車道の安全確保、舗装補修の取り組みは。

答 道路の不具合は、道レポの活用や職員の定期的なパトロールで状況把握を行い、危険性が高い箇所は市職員の修繕作業や業者委託による迅速な対応に努めている。令和8年度は工事予算を倍増したトリプルプラス事業で集中的に舗装補修に取り組む。

小・中学生の自転車利用における安全確保

問 小・中学生に対しヘルメット購入の補助、自転車保険加入の補助がでないか。

答 ヘルメット購入補助は、例年鳴門市交通安全協会が小学3年生を対象に実施し、令和7年度は1人当たり2000円の補助をしている。自転車保険はPTA連合会を通じて加入を促進している。全ての子どもたちがヘルメットを着用できる環境の実現に向けて啓発に努め、ヘルメットおよび保険の補助は、他の自治体の状況も踏まえ、調査研究する。



市道明神日出線の改良工事

問 1期から3期事業区間が整備され、4期、5期工事は完成していない。現在の進捗状況と今後の対応は。

答 国庫補助対象事業としての事業推進に向け、毎年度徳島県に整備計画を提出しているが、事業進捗が停滞している。地域の生活道路の役割や防災上の重要性を踏まえ、事業推進に取り組む。

問 一般的に線路の延伸より短縮の方が事業費は小さく、総合的に勘案し、実現可能性が低いと判断し延伸案などを除外した。駅移設に係る事業費概算は検討を進める中で算定を行い、段階的に精緻化を図り、適宜公表・説明する。JR四国は会議の委員として参加している。また、現在は技術的検討段階であり、JR四国に正式な同意を求める状況にはない。谷通りの活用方法は会議でも議論しており、先進事例なども参考に

答 一般的に線路の延伸より短縮の方が事業費は小さく、総合的に勘案し、実現可能性が低いと判断し延伸案などを除外した。駅移設に係る事業費概算は検討を進める中で算定を行い、段階的に精緻化を図り、適宜公表・説明する。JR四国は会議の委員として参加している。また、現在は技術的検討段階であり、JR四国に正式な同意を求める状況にはない。谷通りの活用方法は会議でも議論しており、先進事例なども参考に

問 指定管理候補者は管理運営のノウハウなどを評価し、県外事業者を選定したが、実際の運用方法などは地元自治振興会の協力を得ながら方向性を決め、今後も地元自治振興会などと連携し、地域住民から親しまれる新たな拠点となるよう取り組む。

答 移動支援事業は市民の生活基盤の確保が目的であり、必要に応じて移動先の見直しや選択肢の拡充を検討する。

問 空き家対策の現状と新たな取り組みについて。

答 本市では空き家について、評価項目判定表に基づき評価を行う。その評価の結果、特定空き家等に該当すると認められるものについて、建築士、司法書士、警察官などから構成される鳴門市特定空き家等対策審議会へ諮問し、専門的見地から審議・答申をいただいたうえで、特定空き家等に認定している。認定した空き家などには、必要に応じて所有者へ助言や指導を行い、改善されない場合には勧告を行い、固定資産税に係る住宅特例が解除され、さらに違反した場合には50万円以下の過料の対象となる。そ



鳴門市まちづくりデザイン会議



うえだ こうじ
上田 公司

動画はこちら



大麻町未来づくり会議

検討する。

問 (仮称) 大麻町総合防災センターの指定管理候補者に地元の共同事業体ではなく、県外事業者を選定した姿勢は、会議の目的である住民主体のまちづくりと矛盾する。ワークショップでの委員の提案も退け、事業者優先の姿勢が顕著では。

答 また、大麻町における移動支援は利用者が17名で、約8割が市外への移動。税金を使って地域のお金を流出させるのではなく、市内循環バスなどへの制度見直しや、新規に开店する店舗との連携を実施するべき。

空き家対策について



たくかわ やすじ
宅川 靖次
(新・令和なると)

動画はこちら



企業誘致について

問 企業誘致の支援状況と今後の方向性について。

答 本市へ新たに進出し、事業所を設置するため取得した固定資産の総額が1億円以上、地元雇用10人以上の要件を満たした事業所を奨励事業所として指定している。指定された奨励事業所は固定資産税が3年間全額免除、以後2年間は半額免除されるとともに地元雇用1人につき20万円を雇用奨励金として交付している。今後も本市に進出した企業が事業継続し、事業拡大が図られるよう、固定資産税の減免をはじめとした経済的支援と関係機関などと連携した人材確保の支援などに取り組む。



やぎ ともこ
八木 知子
(なると未来)

動画はこちら



新スポーツ施設の整備

問現在どのような検討が進められており、今後どのようなスケジュールで議論が進んでいくのか。

答新たに鳴門市新スポーツ施設検討委員会を立ち上げ、アクセスや、敷地面積、着工時期、にぎわい創出などの面から候補地を再検討しており、令和7年度内を目的に建設予定地を決定したい。決定後は、基本計画の策定を迅速に進めるとともに、計画のスムーズな進行を図ることで早期完成を目指して取り組む。

学力向上への取り組み

問学区制撤廃後の高校入試を見据え、鳴門の子どもたちが不利にならないために、どのような学力を身につけさせたいと考えているのか。また、学習環境や支援体制整備の方向性をどのように考えているのか。

答学区制が廃止されることを見据え

て個別最適な学びの充実を図りつつ、本市の子どもたち一人一人の学力の定着に努め、高校選択において自らの学力で希望の高校を選択できるような学力向上に取り組む。また、全ての子どもたちが、安全で安心して学びに向かうことが出来る学習環境の整備に努める。支援体制としては、複数教員の配置によるチームティーチングの実施などに努める。



期日前投票所の混雑解消対策

問令和7年11月の市長・市議会議員一般選挙の期日前投票所で混雑が発生した。今後の対策は。

答窓口の増設、人員の増員など、円滑な執行に向け環境整備に努める。さらに、期日前投票所の増設や移動期日前投票所の導入、各投票所の統廃合についても検討する。

～ 鳴門渦潮高校「鳴門活性化発表会」を議場で開催 (R8.3.18) ～

鳴門渦潮高校総合学科1年の学習科目「産業社会と人間」では、鳴門に関する学習を行い、その成果を鳴門地域に還元し、貢献することを目的とし、「鳴門活性化発表会」が議場で開催されました。発表会には、市議会議員が出席し、市長や市職員、鳴門渦潮高校関係者など、多くの方が傍聴しました。

- 【内容】**
- 趣旨説明 林 博章 (総合学科長)
 - 学校代表謝辞 矢川 雅英 (校長)
 - 進行 16HR 池添 姫咲 / 15HR 谷口 愛美
 - 進行補助 16HR 和田 葉奈
 - 発表 1年次総合学科生3グループ (学習発表会最優秀グループ)

【発表テーマ】

- ①15HR 学生が無料で使える学習スペースを作ろう～鳴門から始まる若者の集い～
〈発表者〉植松 さくら、長村 幸芽、服部 友結
- ②14HR 鳴門市の未来を創る
〈発表者〉神園 蘭真、島田 新寛、高橋 月奈、高橋 怜夢、藤田 愛菜
- ③13HR 鳴門の食材を使ったデザートとキャラクター
〈発表者〉乾 陽菜、森 理央、山下 苺恵、山根 キラ、吉田 愛美



進行



15HR



14HR



13HR

市の予算の使い道について審査しました

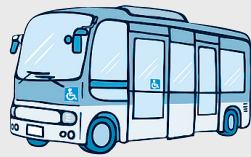
5日間にわたり、予算決算委員会を開催し、令和8年度当初予算・令和7年度補正予算に関する議案17件について審査しました。
 《■：質疑 ●：答弁 ★：意見》

【委員会での審査の中で出た質疑やそれに対する答弁を抜粋したものです。】

公共交通

【公共交通対策事業】

■交通難民対策として検討している新たな移動手段の導入について、具体的な計画は。
 ●令和8年度は、将来の交通のあり方を検討するため、人口構成や高齢化の状況、公共交通の利用状況などのデータを分析するとともに、市民アンケートなどにより住民ニーズを把握する。これらを踏まえ、市全体の交通体系を俯瞰し、地域の特性に応じた最適な交通施策を検討する。



■デマンド交通やタクシーチケットの導入についての考えは。

●デマンド交通やタクシーチケットの交付については、地域の人口分布や地理的条件によって適した方法が異なるため、今後検証が必要だが、新たな移動手段として有効な選択肢の一つと認識している。

■高齢者や学生の移動手段の確保についての考えは。

●公共交通は高齢者の外出支援にとどまらず、通勤・通学など世代を問わず生活を支える基盤であると認識している。今後は学生を含め幅広い世代の声を聞きながら、求められる移動手段の実態を把握し、検討していく。

市民生活

【焼却施設】

■焼却炉の燃料費について。
 ●燃烧時の排ガスの基準を満たすために炉の温度を維持する目的で灯油を使用する。ごみ処理量の多寡などによる焼却炉温度の上下を管理する必要があり、燃料費は毎年上下する。令和8年度はごみ1トンあたり4,000円で試算している。

■建設費用および修繕の累積費用は。
 ●焼却施設の建設費は造成工事費を除き29億2,950万円。焼却場管理費の修繕料として執行した額は平成20年度から令和6年度までの17年間の累計で約12億4,000万円。



★焼却施設の修繕費が毎年3億数千円あり、さらに令和8年度は1号炉修繕に伴う可燃ごみの場外搬出にかかる費用が1億円以上である。一刻も早い事態の改善を要望する。

【予防接種事業】

■鳴門市では全国2例目として令和7年9月より新生児や乳児へRSウイルス抗体製剤を接種する事業を実施しているが、妊婦に投与する母子免疫ワクチンが国の定期接種となった後はどうなるのか。

●母子免疫ワクチンを接種した場合も、新生児や乳児への抗体製剤も接種できる体制を確保する。

都市建設

【公園緑地】

■植え替えが決まっている街路樹は。
 ●現状の維持管理の中で現場を確認しながら、まずは、市民の方から多くのご意見・ご要望をいただいている落葉量が多い区間において、樹木の老朽化や道路への影響が顕著な部分を優先的に対応していく。

■根上がりしている街路樹への対応は。
 ●街路樹は道路の附属施設として位置付けられており、樹木の管理のみならず、歩道の舗装や縁石など、他の道路施設と一体的に対応する必要がある。根上がりしている樹木の根の状況や舗装の損傷程度を確認し

たうえて、必要に応じて樹木への適切な措置と舗装補修を組み合わせるなど、道路管理者である土木課とも連携を図りながら、通行安全の確保を最優先に進めていきたい。

■うずしおふれあい公園の管理について。

●清掃業務などについては、年間を通じて外部委託をしている。また、備品や遊具など老朽化しているものも認識しており、危険性の度合いや利用頻度の多寡などを、市内公園全体として総合的に判断したうえて、引き続き優先順位を設定しながら適切な対応を進めていきたい。



令和8年第2回定例会の予定（6月8日～6月26日）

日	月	火	水	木	金	土
6月7日	8 本会議／開会 予算決算委員会	9 一般質問 通告締切	10	11	12	13
14	15 一般質問(代表)	16 一般質問(個人)	17 一般質問(個人) 予算決算委員会	18 総務文教委員会	19 生活福祉委員会	20
21	22 産業建設委員会	23	24	25 議会運営委員会 全員協議会 議会運営委員会	26 本会議／閉会	27
28	29	30	7月1日	2	3	4

■(赤字) はケーブルテレビ中継とインターネット中継、■(緑字) はインターネット中継を行います

ご意見箱

～議会活動に関するご意見を募集しています～

鳴門市議会では、市民の皆様からの議会活動に関する幅広いご意見をいただくため、「鳴門市議会 ご意見箱」を設置しています。

【提出方法】

次のいずれかの方法でご提出ください。

- ①鳴門市議会公式ウェブサイトの「鳴門市議会 ご意見箱」ページから「入力フォーム」に必要事項をご入力の上、送信。
- ②鳴門市役所 本庁舎1階 総合案内付近に設置しているご意見箱に投函。

※ご意見に対する回答はいたしません。個人情報に配慮の上、鳴門市議会公式ウェブサイトなどで紹介させていただく場合があります。個人に対する誹謗・中傷などは、お断りいたします。



もっと議会を知りたい



【議会を動画配信で見よう】

本会議と委員会の模様は、インターネット中継と録画配信（過去4年間の映像）でご覧いただけます。

また、本会議の模様は、テレビ鳴門でも生放送に加え、録画放送を行っています。



【会議録をウェブサイトで見よう】

- ①「鳴門市議会」を検索。
- ②鳴門市議会公式ウェブサイト内の「会議録検索システム」からご覧になりたい会議録を検索。



《傍聴にお越しください》

令和8年第2回定例会は上記の日程で開催予定です。

本会議、各常任委員会は原則午前10時に開会します。ぜひ、傍聴にお越しください。

【受付】市役所本庁舎4階 議会事務局窓口（西側エレベーターをご利用ください）

※当日、受付にて氏名、住所をご記入ください。傍聴券をお渡します。



《議会広報委員会》

委員長：秋岡 大喜
副委員長：山下 敬子
委員：八木 知子・東 正昇・上田 公司
森江 大蔵・黒島 宏美・納田 盛資
三津 良裕

≡ 編 集 後 記 ≡

第一回定例会では、新人議員全員が一般質問に臨み、それぞれの視点から市政への思いを届けました。市民の皆様さまに、より身近で開かれた議会を感じていただけるよう、広報委員会として今後も分かりやすい議会だよりづくりに努めてまいります。（副委員長：山下 敬子）

※本紙はカラーユニバーサルデザインに配慮して作成しています。